

保育実習指導Ⅱ

1. 担当教員

- ・ 名前: 上岡 紀美(うえおか きみ)他

2. 授業の目的

(1) 授業の目的

保育関連科目で学んだ保育の専門知識や技術を統合し、これを保育実習という保育実践の場で活用することのできる力を養う。

(2) 到達目標

- ① 保育実習を実施するのにふさわしい実習生としてのマナーを身につける。
- ② 乳幼児の発達について理解する。
- ③ 保育実習Ⅱで求められる実践力(部分・全日実習)を身につける。
- ④ 保育実践の実習日誌を記し、かつ指導案を作成することができる。
- ⑤ 保育を実践する上での自己の課題を認識し、その克服に努める。

(3) ディプロマポリシーとの関連

人間発達学科のディプロマポリシー「(1)子どもの発達についての知識と支援の技術を有している」と「(4)子ども期の発達についての深い知識と技能を身につけ、保育士または幼稚園教諭としての十分な知識、スキル、倫理を身につけている」に基づき、とくにこれまで学んできた保育に関する知識や技術の統合と実習に向けての実践力の養成を目指す。

3. 授業の概要

本授業では、3年前期に引き続き、2018年11月に実施される保育実習Ⅱに入る前の事前準備を行うとともに、保育実習Ⅱについて、実習実施後の自らの保育実践に関する課題を、実習日誌あるいは実習で作成した指導案等を用いて明確にし、保育所での実習のまとめを行う。

4. 授業計画と予習・復習の内容及び必要な時間

回	テーマ・内容	予習・復習	備考
1	ガイダンス		
2	休講(幼稚園教育実習期間)		
3	休講(幼稚園教育実習期間)		
4	休講(幼稚園教育実習期間)		
5	休講(幼稚園教育実習期間)		
6	休講		
7	実習事前諸注意ほか		
8	休講(保育実習Ⅱ期間)		
9	振り返り①		
10	振り返り②		
11	模擬保育①		
12	模擬保育②		
13	模擬保育③		
14	模擬保育④		
15	保育所内定報告		

シラバス(公開版)

予習・復習 予習では、事前に配布している『実習の手引き』の該当部分をよく読み、授業に臨むこと。また、復習では、毎回の授業で学んだことが身についているかどうかを自分自身できちんと確認すること。授業 1 コマにつき、予習 60 分、復習 60 分が必要。

※ 授業の展開によっては、変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

5. 評価方法(テスト、レポート、課題等へのフィードバックの方法も含む)

- ・ 受講態度(80%)・・・出席を重視する。
- ・ 提出物(20%)・・・授業内で指示した課題等の提出状況。

6. 履修上の注意

- ・ 保育士資格取得のための必修科目である。
- ・ 私語はしないこと。携帯電話等は授業前に電源を切り、かばんに必ずしまうこと。また、荷物は、空いている席におき、机の上には置かないこと。授業中の飲食も認めない。
- ・ すべての授業に出席すること(全授業数の 4 分の 3 以上の出席が必要となる。※授業数は授業計画欄でよく確認のこと。必ずしも全授業数が 15 回とは限らない)。遅刻・早退は欠席とみなす。やむを得ない事情で欠席・遅刻・早退した場合は、次の授業までに授業担当者に申し出ること。
- ・ 課題提出にあたっては期限を厳守すること。期限を過ぎた場合、原則として受け取らない。盗作・剽窃の場合には、課題は未提出とみなし、単位を認めないこともある。
- ・ 模擬保育等授業内容によっては、クラスを分けて実施することがある。学科の掲示等に注意しておくこと。詳細については、ガイダンスの際に説明する。